



友人の病気をきっかけに医学に興味

中学の時から理系の科目が好きで、ぼんやりと理数科に進みたいと考えていました。船橋高等学校の理数科に進み、高校1年の冬に友人がICUに入るほどの大病を患いました。コロナ禍で面会もできず、歯がゆい思いをしました。何か私にできることはないか、調べているうちに医学の分野の奥深さに興味を持ち、本格的に進学先として考えるようになりました。

決め手は「女子野球部があること」

父が野球好きで、小さなころからキャッチボールをして遊んでいました。野球に興味がありましたが、地元の近くには野球・ソフトボールの部活やクラブチームがありませんでした。中学・高校ではバレーボールをやっていました。医学科に進学したいと決め、進路はまず自宅から通える関東圏の大学で考えました。いくつかの選択肢を調べているうちに、国立大学で唯一の女子軟式野球部が富山大学にあることを知りました。大学に行って野球もやってみたいと思い、富山大学医学部医学科を受験し、進学しました。

1人暮らしの生活について

大学に進学し、最初につまづいたのは一人暮らしの生活でした。実家にいるときに経験しなかった、洗濯や料理、お風呂の炊き方などひとつひとつが初めてのことでした。最初の2か月は毎日がサバイバルのようでした(笑)。親や友人に電話をして訊ねたり、LINEで質問して確認しました。今はようやく落ち着いて生活できています。東京のセカセカした感じやガラガラした感じがしない、富山のゆったりとしたのどかな雰囲気が気に入っています。

野球と勉学に励む日々

大学に入学し、女子軟式野球部に入部しました。現在、部員が12人ほどです。練習試合は中学校のチームや高校男子、社会人チームなど男女問わず地域の野球チームと対戦しています。月・土曜の週二回の練習で車に乗り合わせて練習場へ移動しています。大きい大会は年2回あります。今年の全日本大学女子野球選手権大会では体育大学など強豪チームも出場する中、初戦で勝利をおさめることが出来ました。

医学科なので、勉強面も努力が必要です。試験前は24時間開放されている図書館で勉強します。2年次から解剖実習が始まりました。実際にやってみると教科書で見ているものとは全く違い、血管の走り方が一人一人違うことを強く実感します。休みがなくハードな日々ですが、野球も勉学も全力投球しています！



お世話になった高校の先生へ

とても親身になって一緒に進路を考えてくださってありがとうございました。野球をやりたいという気持ちに寄り添い、最終的に富山大学を推してくださったことが現在につながっています。